

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スタートアッププログラム		
必修選択	選択	(学則表記)	スタートアッププログラム		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	夢のスケッチブック	出版社	FCEエデュケーション		

科目の基礎情報②

授業のねらい	キャリアデザイン科での学びを通して、ステップアップするための目標設定をし、クラスメイトとの好ましい人間関係を築く				
到達目標	クラスメイトとの好ましい人間関係を築き、学校生活における目標が設定できる 学校生活におけるルールとマナーを理解し、「卒業まで頑張ろう」というモチベーションが高まっている				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアデザインプログラムⅠ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	通所リハビリテーション5年勤務、有料老人ホーム2年勤務、特別養護老人ホーム4年勤務をした実務経験を基に、ステップアップするための目標設定をし、人間関係の築き方を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	「好ましい友人関係を築く」、「学校生活における目標を設定する」、「学校生活におけるマナーとルールを学ぶ」ための授業であることを理解する
2	専門学校での学び方	アクティブラーニングを理解し、専門学校での学び方について知る
3	好ましい人間関係を築く①	「自己紹介の取材ごっこ」「ネームリポート」のワークを通して、クラスメイトに興味を持ち、人間関係のスタートは「共感」と「自己開示」から成り立つことを学ぶ
4	好ましい人間関係を築く②	人間関係のスタートは挨拶からであることを理解し、挨拶の大切さを学ぶ
5	学びやすいクラスを作る	「聴く」姿勢の良さ、オンとオフの切り替えの大切さを理解し、実践できるようにする
6	チームビルディングアクティビティ	ワークを通して、楽しみながらこれまで学んできたことの復習を行う
7	専門学校で目指すもの①	「何のために働くのか？」を考え、これから目指す進路について改めて考える
8	専門学校で目指すもの②	SANKOワークコンピテンスについて理解する
9	専門学校で身につけるマナー	専門学校で身につけるマナーについて学ぶ
10	「未来の私」を想像する①	ライフラインの作成を通して、将来どのように働き、どのような生活を送りたいかイメージを膨らませる
11	「未来の私」を想像する②	一番叶えたい事は何かを考え、「未来の夢」をポスターにすることで、未来の自分を明確にする
12	「未来の私」を想像する③	「未来の夢」を完成させ、宣言として発表することで、行動につなげる
13	これまでの振り返り（テスト）	これまでの振り返りをし、理解度を確認する
14	クラススタンダードの設定①	クラススタンダードを設定し、クラスをより良くしていくための方法を考える
15	クラススタンダードの設定②	クラススタンダードを設定し、クラスをより良くしていくための方法を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	自己理解Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	自己理解Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の長所、短所を認知特性で捉え伸ばし補うことで日常でも活かせるようにする				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の認知特性を理解し自分にあった学習方法を学ぶ 自分の強みを知ることで自己受容感や自己肯定感を高める 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総授業時間の3分の2以上である者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	自己理解Ⅰ、ウェルビーイング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	東方小百合	実務経験	○		
実務内容	ウェルビーイング、アンガーマネジメント等の講座開催講師として8年、研修講師として5年、コーチとして5年勤務をした実務経験を基に、認知特性で捉え伸ばし補うことで日常でも活かせるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ・ガイダンス
2	自己理解とは？	・自己理解とは？・自己理解なぜ必要か？・自己理解を深める方法を知る
3	認知特性とは？	・認知特性とは？・認知特性の特徴・認知特性テスト・自分の特性を理解し活用する
4	強みとは？①	・自分の強みを知る・24種類の強み（VIA）
5	強みとは？②	・強みのメカニズム・強みを使う効果
6	強みとは？③	・強みと弱み・強みを使う時の注意・過剰過小使用
7	強みを活かす①	・強みを使う（実践）・強み認知レンズ・強みを新しい方法で使う
8	自分の強みを見つける①	・強み&ワクワクの棚卸し
9	自分の強みを見つける②	・強み&ワクワクの棚卸し用いて（自分の強み）
10	他者の強みを見つける	・他者の強みを見つけるメリット
11	ポジティブ感情①	・ポジティブ感情はなぜ大切なのか？・ポジティブ感情とネガティブ感情
12	ポジティブ感情②	・ポジティブ感情を増やすには？
13	強みのまとめ	強みの振り返り・レポート作成
14	小テストと振り返り	・小テスト・自分の強みの実践を振り返る（どんな時発揮されたか）
15	前期振り返り	自分の強みを使った自己分析シート

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	自己理解Ⅱ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	自己理解Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の長所、短所を認知特性で捉え伸ばし補うことで日常でも活かせるようにする				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思考のクセを知り、コミュニケーションに役立つ方法を知る ウェルビーイングを高める思考習慣について理解し実践する 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総授業時間の3分の2以上である者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	自己理解Ⅱ、ウェルビーイング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	東方小百合	実務経験	○		
実務内容	ウェルビーイング、アンガーマネジメント等の講座開催講師として8年、研修講師として5年、コーチとして5年勤務をした実務経験を基に、認知特性で捉え伸ばし補うことで日常でも活かせるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	・後期の授業の流れ・自己理解を深める
2	物の見方と考え方のクセ①	・楽観的考え方と悲観的考え方
3	物の見方と考え方のクセ②	・自分の思い込みに気づく・捉え方を変える
4	マインドセット①	・マインドセットとは？・マインドセットの種類
5	マインドセット②	・しなやかマインドセットのメカニズム
6	マインドセット③	・マインドセットの違いを知る
7	マインドセット④	・しなやかマインドセットを育てる
8	マインドセット⑤	・人間関係のマインドセット（恋愛のマインドセット）
9	マインドセット⑥	・人間関係のマインドセット（友達付き合い）
10	マインドセットをしなやかにする①	・他者とのコミュニケーションに活かす
11	マインドセットをしなやかにする②	・マインドセットの復習・やりたいことリスト作成
12	マインドセットのまとめ	・マインドセットのまとめ・レポート
13	小テスト	・後期の振り返りとまとめ・小テスト
14	ウェルビーイング	・小テスト返却・ウェルビーイング自分史を作成
15	1年間の振り返り	・自分史発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎心理学Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	基礎心理学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	こころ検定4級 公式テキスト		出版社	教育ナビゲーション株式会社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会心理学や発達心理学など「心理学」の基本的な知識と共に、自分を知り相手を理解するための知識を身につける。				
到達目標	心理学の基本的な知識を学ぶことで、自分を知り、相手を理解するための知識を身につける。				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	こころ検定4級				
関連科目	基礎心理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	水本 侑人	実務経験	○		
実務内容	病院、訪問看護ステーション、保育園、介護施設にて看護師として10年勤務をした実務経験を基に、社会心理学や発達心理学など「心理学」の基本的な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	担当教員を知る。 学生同士の自己紹介によってお互いを知る機会にする。
2	自分を知るためのワークショップ①	個人ワークの中で自分自身の得意なこと、苦手なこと、ストレスになること、ストレスへの対処法を知る。
3	自分を知るためのワークショップ②	グループワークの中で自分自身の得意なこと、苦手なこと、ストレスになること、ストレスへの対処法を深める。
4	こころと行動の関係①	学習心理学とは？なぜ行動してしまうのか？
5	こころと行動の関係②	なぜやめられないのか？
6	こころと行動の関係③	行動に影響を与えるこころの作用
7	こころと行動の関係④	もっと上手に行動するには？
8	こころと物事の捉え方の関係①	認知心理学とは？、「覚える」・「忘れる」、記憶とこころの関係
9	こころと物事の捉え方の関係②	「考える」こととこころの関係
10	こころと物事の捉え方の関係③	時間とこころの関係
11	からだとこころの関係①	時間とこころの関係、脳・神経とこころの関係
12	からだとこころの関係②	「起きる」・「眠る」とこころの関係、
13	からだとこころの関係③	ウソとこころの関係、ストレスの基礎知識
14	前期テスト	前期テストを実施する。
15	前期総まとめ	前期テスト、前期の授業のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎心理学Ⅱ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	基礎心理学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	こころ検定4級 公式テキスト		出版社	教育ナビゲーション株式会社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会心理学や発達心理学など「心理学」の基本的な知識と共に、自分を知り相手を理解するための知識を身につける				
到達目標	心理学の基本的な知識を学ぶことで、自分を知り、相手を理解するための知識を身につける				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	こころ検定4級				
関連科目	基礎心理学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	水本 侑人	実務経験	○		
実務内容	病院、訪問看護ステーション、保育園、介護施設にて看護師として10年勤務をした実務経験を基に、社会心理学や発達心理学など「心理学」の基本的な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	見る・聞くとこころの関係①	知覚心理学とは？、見ることとこころの関係①：奥行き知覚
2	見る・聞くとこころの関係②	見ることとこころの関係②：錯視
3	見る・聞くとこころの関係③	聞くこととこころの関係、連動する知覚・様々な錯覚
4	自分と他者のこころ①	社会心理学とは？、どうして他者が気になるのか？どうしたら良く見られるのか？
5	自分と他者のこころ②	コミュニケーションとこころの関係
6	自分と他者のこころ③	こころにおける個人と集団の違い
7	気持ちとやる気①	感情心理学とは？気持ちとは？
8	気持ちとやる気②	気持ちとからだの関係、気持ちを測定する方法☒
9	気持ちとやる気③	どうしたらやる気が出るのか？
10	頭を使うこととこころの関係①	知能とは？知能の構造
11	頭を使うこととこころの関係②	私たちの生活と知能
12	頭を使うこととこころの関係③	人間の知能と動物の知能、知能を測定する方法
13	検定対策①	こころ検定4級の検定対策を行う
14	検定対策②	こころ検定4級の検定対策を行う
15	こころ検定4級 試験	こころ検定4級を受検する（希望者のみ）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	健康管理能力Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	健康管理能力Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	健康管理能力検定3級テキスト		出版社	一般財団法人全国健康管理能力検定協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	生活リズムや体内時計の働きと仕組みを理解し、生活に活かすことができる				
到達目標	①生活リズムや生体リズム、ライフステージに関連した健康のメカニズムを理解することで、健康管理・予防医学の知識を習得し生活に活かすことができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	健康管理能力検定3級 2月下旬取得予定				
関連科目	健康管理能力Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河野 朋(こうの とも)	実務経験	○		
実務内容	総合病院で看護師として5年、歯科医院で歯科助手として2年、キャリアコンサルティング会社で研修サポート・サブ講師として4年勤務をした実務経験を基に、生活リズムや体内時計の働きと仕組みを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標の説明
2	新しい環境と生活リズムに慣れる①	新しい環境と生活リズムに慣れること、慣れるまでの道のり、慣れない時にみられる症状、慣れない時の対処方法、慣れない時の予防と早めの対応の方法
3	新しい環境と生活リズムに慣れる②	健康、幸せ、ウェルビーイングについて
4	新しい環境と生活リズムに慣れる③	ストレスについて、ストレスに対する考え方や行動
5	私たちの体のリズム	(3級テキスト1章12P～26P) 私たちの体のリズム
6	体のリズムとホメオスタシス①	(3級テキスト2章28P～36P) 自律神経や幸せホルモン
7	体のリズムとホメオスタシス②	(3級テキスト3章37P～42P) 免疫について+感染予防と対策
8	活動的に過ごすための1日のリズム①	(3級テキスト3章44P～53P、56P～57P、68P～71P) 朝の時間の過ごし方
9	活動的に過ごすための1日のリズム②	(3級テキスト3章72P～76P) 昼の時間の過ごし方
10	活動的に過ごすための1日のリズム③	(3級テキスト3章54P～55P、77P～78P、84P～86P) 食事・栄養について+血糖値
11	活動的に過ごすための1日のリズム④	(3級テキスト3章58P～63P) 腸内環境
12	活動的に過ごすための1日のリズム⑤	(3級テキスト3章64P～67P、88P) 運動について
13	活動的に過ごすための1日のリズム⑥	(3級テキスト3章79P～83P、87P、89P) 夜の時間の過ごし方、睡眠・休息について+ストレス緩和法
14	テスト	テストを実施する
15	前期のまとめ	テストの振り返りと前期内容のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	健康管理能力Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	健康管理能力Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	健康管理能力検定3級テキスト		出版社	一般財団法人全国健康管理能力検定協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	生活リズムや体内時計の働きと仕組みを理解し、生活に活かすことができる				
到達目標	①生体リズムや生活リズム、ライフステージに関連した健康のメカニズムを理解することで、健康管理・予防医学の知識を習得し生活に活かすことができる。				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	健康管理能力検定3級 2月下旬取得予定				
関連科目	健康管理能力Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河野 朋(こうの とも)	実務経験	○		
実務内容	総合病院で看護師として5年、歯科医院で歯科助手として2年、キャリアコンサルティング会社で研修サポート・サブ講師として4年勤務をした実務経験を基に、生活リズムや体内時計の働きと仕組みを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体のリズムと四季折々のくらし方①	(3級テキスト4章92P～101P) 季節に合わせた健やかなくらし
2	体のリズムと四季折々のくらし方②	(3級テキスト4章102P～111P) 春から始める自然とつながるくらし方
3	体のリズムと四季折々のくらし方③	(3級テキスト4章112P～119P) 夏の暑さを乗り切るくらし方
4	体のリズムと四季折々のくらし方④	(3級テキスト4章120P～126P) 秋に合わせて自然を楽しむくらし方
5	体のリズムと四季折々のくらし方⑤	(3級テキスト4章127P～134P) 冬の寒さを乗り切るくらし方
6	ライフステージと体のリズム①	(3級テキスト5章136P～144P) + 乳幼児期の発達段階と課題
7	ライフステージと体のリズム②	(3級テキスト5章136P～144P) 乳幼児期と体のリズムと整え方
8	ライフステージと体のリズム③	(3級テキスト5章145P～153P) + 学童期・青年期の発達段階と課題
9	ライフステージと体のリズム④	(3級テキスト5章145P～153P) 学童期・青年期の体のリズムと整え方
10	ライフステージと体のリズム⑤	(3級テキスト5章154P～161P) + 成人期の発達段階と課題
11	ライフステージと体のリズム⑥	(3級テキスト5章154P～161P) 成人期の体のリズムと整え方
12	ライフステージと体のリズム⑦	(3級テキスト5章162P～168P) + 高齢期の発達段階と課題
13	ライフステージと体のリズム⑧	(3級テキスト5章162P～168P) 高齢期の体のリズムと整え方
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	自己表現Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	自己表現Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	幼児から高齢者の造形活動を行いながら、コミュニケーションを円滑にするための自己表現法を学ぶ				
到達目標	①表現活動での自身の技術と感性を磨き、それを表現できる ②表現活動の基本的道具・素材を使いこなし、人に伝えるための多角的な考え方を身につける				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	自己表現Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	野呂 良子	実務経験	○		
実務内容	小学校支援学級で非常勤講師として6年、中学校支援学級で非常勤講師として3年、老人ホームでアート講師として1年勤務をした実務経験を基に、幼児から高齢者の造形活動を行いながら、コミュニケーションを円滑にするための自己表現方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の概要説明、及び到達目標について。道具と材料
2	季節の制作	季節の壁面デザイン
3	平面表現①	デッサン基礎の理解
4	季節の制作（春）	平面表現①を使った制作
5	季節の折り紙（春）	季節の折り紙（春）
6	平面技法	平面技法の理解
7	色彩	色彩原理
8	相手に伝える	鉛筆、平面制作での導入について
9	相手に伝える	筆、ローラー・平面制作での導入、援助法について
10	平面制作	幅広い年齢に対応できる歌を絵にしてクイズを制作する。
11	平面制作	デッサン
12	平面制作	水彩画
13	季節の制作（夏）	季節の壁面デザイン
14	季節の折り紙（夏）	季節の折り紙（夏）・小テスト
15	五感からの表現方法	五感から感じるものを表現

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	自己表現Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	自己表現Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	幼児から高齢者の造形活動を行いながら、自分らしさを出すことの出来る自己表現力を学ぶ				
到達目標	①表現活動での自身の技術と感性を磨き、それを表現できる ②表現活動の基本的道具・素材を使いこなし、人に伝えるための多角的な考え方を身につける				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	自己表現Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	野呂 良子	実務経験	○		
実務内容	小学校支援学級で非常勤講師として6年、中学校支援学級で非常勤講師として3年、老人ホームでアート講師として1年勤務をした実務経験を基に、幼児から高齢者の造形活動を行いながら、コミュニケーションを円滑にするための自己表現方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	五感からの表現方法	五感から感じるものを表現
2	季節の制作（秋）	季節の壁面デザイン（立体）
3	相手に伝える	立体制作での指導、援助法、展開について
4	季節の折り紙（秋）	季節の折り紙（秋）
5	立体制作	粘土制作
6	立体制作	張りこ制作
7	立体制作	
8	季節の制作（冬）	季節の壁面デザイン（立体）
9	相手に伝える	立体制作での指導、援助法、展開について
10	季節の折り紙（冬）	季節の折り紙（冬）
11	立体制作①	工作
12	相手に伝える	立体制作①での指導、援助法、展開について
13	立体制作	立体制作での導入、展開について
14	相手に伝える	模擬活動
15	総合テスト	授業の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ライフスキルアップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ライフスキルアップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	まんが・イラストでわかる！これで安心！ひとり暮らしガイド		出版社	池田書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	料理、掃除、世の中のお金（保険、貯蓄、投資）等の仕組み等日常生活を送る上で必要な知識やスキルを学ぶ				
到達目標	生活者として自立するための知識と実践力が身につく				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ライフスキルアップⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木裕美子	実務経験	○		
実務内容	高等学校教諭として32年勤務した実務経験を基に、保険、貯蓄、投資等の仕組み等日常生活を送る上で必要な知識やスキルを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ガイダンス
2	住居 1	すまいの機能、部屋探し
3	住居 2	間取り（契約や経費は、ライフスキルアップⅡマネー管理で学びます）
4	料理 1	食事、自炊と道具
5	料理 2	栄養バランス
6	住居・料理まとめ	小テスト・レポート
7	家事力 1	家事力とは、片付け・掃除 1
8	家事力 2	片付け・掃除 2
9	家事力 3	洗濯
10	家事力まとめ	小テスト・レポート
11	健康と人間関係 1	健康と睡眠
12	健康と人間関係 2	メンタルケアケア
13	健康と人間関係まとめ	小テスト・レポート
14	ライフスキルアップⅠテスト	テスト
15	まとめ	テスト返却・ふりかえり

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ライフスキルアップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ライフスキルアップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	まんが・イラストでわかる！これで安心！ひとり暮らしガイド		出版社	池田書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	料理、掃除、世の中のお金（保険、貯蓄、投資）等の仕組み等日常生活を送る上で必要な知識やスキルを学ぶ				
到達目標	生活者として自立するための知識と実践力が身につく				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ライフスキルアップⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木 裕美子	実務経験	○		
実務内容	高等学校教諭として32年勤務した実務経験を基に、保険、貯蓄、投資等の仕組み等日常生活を送る上で必要な知識やスキルを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コミュニケーション1	みだしなみとマナー
2	コミュニケーション2	多様性を受け入れる
3	コミュニケーションまとめ	小テスト・レポート
4	マネー管理1	賃貸契約・必要経費
5	マネー管理2	1か月のマネーの流れ・貯蓄
6	マネー管理3	保険・クレジット・ローン
7	マネー管理まとめ	小テスト・レポート
8	危機管理1	リスクと自己防衛
9	危機管理2	災害対策・トラブル対応
10	危機管理まとめ	小テスト・レポート
11	部屋作り1	間取り
12	部屋作り2	インテリア1
13	部屋作り3	インテリア2
14	ライフスキルアップⅡテスト	テスト
15	まとめ	テスト返却と振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	いちばん使える！ビジネスマナーの基本とコツ		出版社	高橋書店	
授業のねらい	ビジネス社会において必要なマナーや知識を学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるマナーや慣習を理解できる ・信頼される社会人としての能力と態度が育成される 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	秘書検定3級（2025年2月9日実施）				
関連科目	SNSリテラシー、パソコン、ペン字、インターシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木 裕美子	実務経験		○	
実務内容	高等学校教諭として32年勤務した実務経験を基に、ビジネス社会において必要なマナーや知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション1章1 みだしなみ	ガイダンス、男性のみだしなみ・女性のみだしなみ
	1章2 あいさつ	あいさつのしかた、日常のあいさつとマナー
2	1章3 敬語・メール	敬語の基本、ビジネス会話、ビジネスメール
	1章4 敬語・メール	話し方、聞き方
3	1章5 整理術	ビジネスの整理法
	1章 まとめ	1章まとめ小テスト・ワーク
4	2章1 電話対応	電話かけ方・受け方
	2章2 クレーム対処、SNSマナー	クレーム対処、携帯電話・SNSのマナー
5	3章1 社内業務	指示の受け方、報告・連絡・相談の方法
	3章2 社内会議	会議の方法・プレゼンテーション・コミュニケーション
6	4章1 来客対応1	来客対応
	4章2 来客対応2	名刺交換
7	4章3 アポイントメント	アポイントメントの取り方・社外取引
	2・3・4章まとめ	2・3・4章まとめ小テスト・ワーク
8	検定対策1	検定問題演習1
	5章 話し方	質問、依頼、謝罪、提案、交渉など

9	6章 1 冠婚葬祭 1	結婚式のマナー
	6章 2 冠婚葬祭 2	通夜・葬儀のマナー
10	5章・6章まとめ・ワーク	3章・6章まとめ小テスト・ワーク
	和文化 1 和室のマナー	和室の作法
11	和文化 2 和文化を知る 1	茶道 1
	和文化 3 和文化を知る 2	茶道 2
12	7章 1 お付き合いのマナー	接待、酒席・パーティでのマナー
	7章 2 訪問・お見舞い	訪問先での過ごし方
13	7章 3 食事のマナー	和食、洋食、中国料理、その他の食事のマナー
	7章 まとめ	7章まとめ、小テスト、ワーク
14	秘書検定対策 2	検定演習問題 2
	飛翔検定対策 3	検定演習問題 3
15	テスト	テスト
	まとめ	テスト返却・まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・ITリテラシーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・ITリテラシーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	基礎からわかる情報リテラシー(改訂第5版)		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	SNSをはじめとする様々なICTを正しく使いこなす社会人になるための基本的知識を学ぶ				
到達目標	SNSの危険性も理解した上、正しく使いこなせるようになる 興味がある分野、学校、企業について調べ知識を深める。またそれについての資料を作成する技術を身につける				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	パソコン演習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高峯 美奈子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	SNSの歴史 ITによって便利になったこと SNSのメリット・デメリット	SNSがどういった経緯でできたのかを知り、現代におけるSNSの正しい使い方を理解する。 オンライン授業やオンライン診療、テレワークやネットショップなどITによって便利になった事例を調べる。
2	コンピューターとのつきあい方	(教科書第1章) コンピューターの基本用語、基本操作
3	タイピング	(教科書第2章) ゲームなどを通してタイピングを習得する。
4	警視庁による講義	綾瀬警察署などに依頼し、ITリテラシーやそれに付随する犯罪の危険性などを講義していただく
5	SNSトラブルへの対処	警察による講義を聞いて振り返りを行う。誹謗中傷、アップするときの注意事項 ※アルバイト先や実習先に関する投稿は特に気をつけることなどを伝える。
6	タイピング、簡単なあいさつ文入力	ゲームなどを通してタイピングを習得する。 簡単なあいさつ文を入力してみる。
7	メール、LINEの送り方	(教科書第3章) ビジネスにおけるの礼儀を踏まえ、文を入力する。
8	おえかき機能	ペイント機能の使い方 画像の引用の仕方
9	Power point	オンラインOC新聞を作る際に使うことを想定して、プレゼン用・印刷用としても使えることを伝え、触れる機会を作る。
10	情報の調べ方・まとめ方	(教科書第8章) サーチエンジン活用方法、ネット上の情報の探し方、データの入力方法、図書館活用法
11	情報の調べ方・まとめ方	夏休みの宿題で「オンラインオープンキャンパス(企業説明会)に参加すること」を提示するので、そのための調べ学習を行う。興味がある分野、学校、企業を調べる。
12	(夏休み前最後の授業である想定) 情報の調べ方・まとめ方 宿題：オンラインOCに参加する	オンラインオープンキャンパス(企業説明会)に参加する上での注意事項やポイントを伝える。
13	(夏休み明け授業である想定) オンラインOC新聞を作ろう！	オンラインオープンキャンパス(企業説明会)に参加して聞いた内容、印象に残ったこと、感想などをまとめる。
14	オンラインOC新聞を作ろう！	オンラインOC新聞作業
15	オンラインOC新聞を作ろう！	オンラインOC新聞発表もしくは提出日

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNS・ITリテラシーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	SNS・ITリテラシーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	基礎からわかる情報リテラシー(改訂第5版) ゼロからわかるビジネスInstagram		出版社	技術評論社 SBクリエイティブ	

科目の基礎情報②

授業のねらい	SNSをはじめとする様々なICTを正しく使いこなす社会人になるための基本的知識を学ぶ				
到達目標	SNSの危険性も理解した上、正しく使いこなせるようになる 集客や認知に繋がる魅力的な発信方法を身につける				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	パソコン演習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高峯 美奈子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	情報とセキュリティ	(教科書第10章) USBメモリの危険、セキュリティ対策、パスワード管理など
2	著作権について	著作権や個人情報保護法に触れ、違法アップロードについて学ぶ。
3	Instagramの活用方法について	プライベートのアップだけでなく、企業戦略として使われていることを理解し実際に触れてみる。 メインターゲットや機能を知る。(教科書チャプター1)
4	Instagram	授業用のアカウントを各自作り、機能に触れてみる(教科書チャプター2)
5	Instagram	アカウントの運用目標を決める。(教科書チャプター3) 学生自身が授業用に作成したアカウントを使って「何を訴求するInstagramにするのか」目標や方向性を決める。
6	Instagram	実際に投稿を始めよう! 投稿の際の注意事項などを伝え、各自投稿する。
7	Instagram	フォロワーを増やすテクニック(教科書チャプター4) 自分の投稿を確認させながら、教科書のテクニックを解説する。
8	Instagram	魅力が伝わる投稿作成のコツ(教科書チャプター5) 自分の投稿を確認させながら、教科書のテクニックを解説する。
9	Instagram	実際に自分たちで投稿してみてもの振り返りを実施する。
10	【これ以降はパソコン演習のシラバス とかぶらない内容で実施】 Word	パソコン検定教科書の文章を参考に文章を打ち込む練習をする。
11	Word	パソコン検定教科書に即した簡単なお知らせなどを作成する。
12	Excel	パソコン検定教科書に即した表などを作成する。
13	Excel	パソコン検定教科書に即した表などを作成する。
14	Powerpoint	簡単な自己紹介PPTを作成する。
15	Powerpoint	簡単なチラシを作成する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインプログラムⅠ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアデザインプログラムⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことで、人間力を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他社へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアデザインプログラムⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大和田 美千栄	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	大切なことは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインプログラムⅡ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアデザインプログラムⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことで、人間力を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他社へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアデザインプログラムⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大和田 美千栄	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があることを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的的成功に先立つことを理解する
13	キャリアデザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、キャリアデザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
14	卒業に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、卒業後の目標設定を考える
15	卒業に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、卒業後の目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ウェルビーイング		
必修選択	選択	(学則表記)	ウェルビーイング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	人生を豊かにするウェルビーイングノート		出版社	金剛出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェルビーイングの基礎を学び、自分の幸せを自分で探す方法を学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイングの意味と意義を理解する ・豊かな人生を作る方法を理解し、幸せの担い手として行動できる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	自己理解Ⅰ、自己理解Ⅱ、基礎心理学Ⅰ、基礎心理学Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐々木 裕美子	実務経験	○		
実務内容	高等学校教諭として32年勤務した実務経験を基に、ウェルビーイングの基礎を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ガイダンス
2	ウェルビーイング概論①	ウェルビーイングとは chapter 1 心の健康
3	ウェルビーイング概論②	成り立ちと研究
4	ウェルビーイング概論③	WBの各論
5	心理的ウェルビーイング①	chapter 2 ポジティブ感情① ポジティブ感情とは、感謝
6	心理的ウェルビーイング②	chapter 2 ポジティブ感情② 希望
7	心理的ウェルビーイング③	chapter 2 ポジティブ感情③ 興味深い、面白い
8	心理的ウェルビーイング④	chapter 2 エンゲージメント① エンゲージメントとは
9	心理的ウェルビーイング⑤	chapter 2 エンゲージメント② エンゲージメントを高めるには
10	社会的ウェルビーイング①	chapter 2 良好な人間関係
11	社会的ウェルビーイング②	chapter 2 人生の意味・達成
12	社会的ウェルビーイング②	chapter 2 達成 自己決定
13	身体的ウェルビーイング①・総論	chapter 2 活力を高める chapter 3 周りの人へWB
14	テスト	テスト
15	まとめ	テスト返却・まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	現場総合演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	現場総合演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	ワークシート Jammuボード 実習要綱		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	興味ある実習先(動物園、歴史的建造物、博物館etc.)について、自分たちで企画や振り返りを行う中で計画性・発信力・問題発見力・課題対応力などを身につける				
到達目標	現場総合実習に向けてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・準備を行うグループ演習を通してチームワークの必要性を理解する				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	現場総合実習、現場総合演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、企画運営する上での計画性・発信力・問題発見力・課題対応力などを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	現場総合演習の意義・目的を理解する
2	オリエンテーション	現場総合演習の意義・目的を理解する
3	PDCAサイクルの理解	PDCAサイクルについて学び活用方法を知る
4	PDCAサイクルの理解	PDCAサイクルについて学び活用方法を知る
5	チームワークについての理解	チームワークについて学びグループで活躍するために大切なことを理解する
6	チームワークについての理解	チームワークについて学びグループで活躍するために大切なことを理解する
7	事前学習①	グループに分かれ現場実習先について下調べをする
8	事前学習①	グループに分かれ現場実習先について下調べをする
9	事前学習①	グループに分かれ現場実習先について下調べをする
10	事前学習①	グループに分かれ現場実習先について下調べをする
11	事前学習②	当日に向けてのスケジュールや役割分担を決める
12	事前学習②	当日に向けてのスケジュールや役割分担を決める
13	事前学習③	事前学習した内容を発表し後期実習先を選定する
14	事前学習③	事前学習した内容を発表し後期実習先を選定する
15	事前学習④	実習先へ事前の連絡をする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	現場総合演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	現場総合演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	ワークシート Jammuボード 実習要綱		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	興味ある実習先(動物園、歴史的建造物、博物館etc.)について、自分たちで企画や振り返りを行う中で計画性・発信力・問題発見力・課題対応力などを身につける				
到達目標	課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行い、まとめて発表することで、この一連の流れを通してチームワークの必要性を理解する				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	現場総合実習、現場総合演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、企画運営する上での計画性・発信力・問題発見力・課題対応力などを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	実習の振り返り	お礼状の作成をする
2	実習の振り返り	お礼状の作成をする
3	実習の振り返り	グループで実習の学びや今後の課題について振り返りを行う
4	実習の振り返り	グループで実習の学びや今後の課題について振り返りを行う
5	実習報告会の準備	実習報告会の概要について理解する
6	実習報告会の準備	実習報告会の概要について理解する
7	実習報告会の準備	実習報告会の役割分担をする
8	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
9	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
10	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
11	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
12	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
13	実習報告会の準備	実習報告会に向けてグループワークを行う
14	実習報告会	実習報告会の開催
15	実習報告会	実習報告会の開催

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	現場総合実習		
必修選択	選択	(学則表記)	現場総合実習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	30
使用教材	ワークシート 実習要綱		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分たちで企画した実習計画の実施を行う中で問題発見力や、課題対応力を身につける				
到達目標	現場総合演習Ⅰの学びを活かし、現場体験できをすることで、実習を通し視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを知ることができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	現場総合演習Ⅰ、現場総合演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、実習計画の実施を行う中で問題発見力や、課題対応力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	現場総合実習	<ul style="list-style-type: none"> ●課外学習（外出見学） 1日×3か所（時間数による） 現場総合演習Ⅰで準備した内容をもとに課外学習をする 1：グループで調べたことや目標を立てたこと、役割を決めたことを実行する 2：新しい発見や気になったことをメモに取ることができる 3：グループで協力しそれぞれの役割を遂行し出来たことや難しかったことをメモに取る
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23	現場総合実習	<p>●課外学習（外出見学） 1日×3か所（時間数による） 現場総合演習Ⅰで準備した内容をもとに課外学習をする</p> <ol style="list-style-type: none">1：グループで調べたことや目標を立てたこと、役割を決めたことを実行する2：新しい発見や気になったことをメモに取ることができる3：グループで協力しそれぞれの役割を遂行し出来たことや難しかったことをメモに取る
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ボランティア概論		
必修選択	選択	(学則表記)	ボランティア概論		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	ワークシート	出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	自発的な活動で他人や社会に貢献する意義や種類、モチベーション、倫理、効果を学び実践につなげる				
到達目標	ボランティアの必要性が理解でき国や地域が主催するボランティアに参加し自主性を身につける				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ボランティア実習Ⅰ、ボランティア実習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、社会に貢献する意義や種類、モチベーション、倫理、効果を学んだうえでの実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボランティアの概要	ボランティアの意義・目的を理解する
2	ボランティアの概要	これまで経験したことや知っているボランティアを共有し自分に出来ることを探す
3	ボランティアの概要	ボランティア実施に向けての心構えを学ぶ
4	ボランティア実践	現代における環境問題について学ぶ
5	ボランティア実践	地域清掃活動 学校周辺の清掃活動を通し快適な生活環境を目指す
6	ボランティア実践	地域清掃活動 清掃活動の振り返りを行い自分の出来ることを考える
7	ボランティア実践	募金活動の意義・目的・概要について学ぶ
8	ボランティア実践	募金活動 ユニセフ募金の実施を通し地域の方との関わりを持つ
9	ボランティア実践	募金活動 ユニセフ募金活動の振り返りを行い自分の出来ることを考える
10	SDGsの理解	SDGsについて学び社会問題を理解する
11	SDGsの理解	SDGsに対して自分ができることを考えまとめる
12	被災地でのボランティア	被災地でのボランティアの意義・目的を学び、活躍するボランティアの内容について知る
13	被災地でのボランティア	被災地で役立つ物品、ハザードマップについて学ぶ
14	シンボルマークの理解	公共施設等にある様々なシンボルマークを知り適切な行動を考える
15	まとめ・振り返り	ボランティア概論についてのテスト実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	ボランティア実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボランティア実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	30
使用教材	ワークシート Jammuボード		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育園等でのボランティアを通して喜びややりがいを実感し、自己肯定感や自己効力感を高める				
到達目標	園児や職員との交流を通して幅広い年齢層とのコミュニケーションができる。業界の仕事内容を理解する				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ボランティア実習Ⅱ、ボランティア概論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、社会に貢献する意義や種類、モチベーション、倫理、効果を学んだうえでの実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	業界におけるボランティアの種類	子ども分野におけるボランティアの種類を知り求められていることを理解する
2	業界におけるボランティアの種類	子ども分野におけるボランティアの種類を知り求められていることを理解する
3	ボランティア実践に向けての準備	園の種類・機能や役割を理解する
4	ボランティア実践に向けての準備	園児とのコミュニケーション方法を学ぶ
5	ボランティア実践に向けての準備	園児向けの遊びや歌を学び実践する
6	ボランティア実践に向けての準備	園児向けの遊びや歌を学び実践する
7	ボランティア実践に向けての準備	園児向けの自己紹介の準備、練習をする
8	ボランティア実践に向けての準備	園児向けの自己紹介の準備、練習をする
9	ボランティア実践実践	保育園でのボランティアを通し園児と関わる。仕事内容に触れる
10	ボランティア実践実践	保育園でのボランティアを通し園児と関わる。仕事内容に触れる
11	ボランティア実践実践	幼稚園でのボランティアを通し園児と関わる。仕事内容に触れる
12	ボランティア実践実践	幼稚園でのボランティアを通し園児と関わる。仕事内容に触れる
13	ボランティアの振り返り	保育園と幼稚園ボランティアを振り返り、まとめを行い次回のボランティアの目標を設定する
14	ボランティアの振り返り	保育園と幼稚園ボランティアを振り返り、まとめを行い次回のボランティアの目標を設定する
15	ボランティア実践実践	こども食堂でのボランティアを通し地域交流を図る

16	ボランティア実践実践	こども食堂でのボランティアを通し地域交流を図る
17	ボランティア実践実践	ろう学校（幼稚部）の園児と関わり様々なコミュニケーションのあり方を学ぶ
18	ボランティア実践実践	ろう学校（幼稚部）の園児と関わり様々なコミュニケーションのあり方を学ぶ
19	ボランティア実践実践	フリースクールを利用者する児童や生徒と関わり一人ひとりに適した対応を知る
20	ボランティア実践実践	フリースクールを利用者する児童や生徒と関わり一人ひとりに適した対応を知る
21	ボランティアの振り返り	ボランティアの振り返り、まとめを行う お礼状の作成
22	ボランティアの振り返り	ボランティアの振り返り、まとめを行う お礼状の作成
23	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
24	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
25	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
26	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
27	発表	前期のボランティアを通して学んだことをクラスで発表する
28	発表	前期のボランティアを通して学んだことをクラスで発表する
29	まとめ・振り返り	前期のボランティアのフィードバックをし後期の目標設定をする
30	まとめ・振り返り	前期のボランティアのフィードバックをし後期の目標設定をする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	ボランティア実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボランティア実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	30
使用教材	ワークシート Jammuボード		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	介護福祉施設等でのボランティアを通して喜びややりがいを実感し、自己肯定感や自己効力感を高める				
到達目標	高齢者や職員との交流を通して幅広い年齢層とのコミュニケーションができる。業界の仕事内容を理解する				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ボランティア実習Ⅰ、ボランティア概論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、社会に貢献する意義や種類、モチベーション、倫理、効果を学んだうえでの実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	業界におけるボランティアの種類	介護分野におけるボランティアの種類を知り求められていることを理解する
2	業界におけるボランティアの種類	介護分野におけるボランティアの種類を知り求められていることを理解する
3	ボランティア実践に向けての準備	介護施設、障がい者施設の種別・役割を知る
4	ボランティア実践に向けての準備	高齢者や障がい者とのコミュニケーション方法を学ぶ
5	ボランティア実践に向けての準備	高齢者や障がい者とのコミュニケーション方法を学ぶ
6	ボランティア実践に向けての準備	高齢者向けのレクリエーション学ぶ
7	ボランティア実践に向けての準備	高齢者向けのレクリエーション考え準備する
8	ボランティア実践に向けての準備	高齢者向けのレクリエーションの準備をする
9	ボランティア実践実践	デイサービスでのボランティアを通し高齢者とのコミュニケーションを図る。仕事内容に触れる
10	ボランティア実践実践	デイサービスでのボランティアを通し高齢者とのコミュニケーションを図る。仕事内容に触れる
11	ボランティア実践実践	特養でのボランティアを通し高齢者とのコミュニケーションを図る。仕事内容に触れる
12	ボランティア実践実践	特養でのボランティアを通し高齢者とのコミュニケーションを図る。仕事内容に触れる
13	ボランティアの振り返り	デイサービスと特養のボランティアを振り返り、まとめを行い次回のボランティアの目標を設定する
14	ボランティアの振り返り	デイサービスと特養のボランティアを振り返り、まとめを行い次回のボランティアの目標を設定する
15	ボランティア実践実践	聴覚障がいのある方とのコミュニケーションツールとして手話について学ぶ

16	ボランティア実践実践	聴覚障がいのある方とのコミュニケーションツールとして手話について学ぶ
17	ボランティア実践実践	ろう学校（専攻科）の学校見学や交流を通しコミュニケーション力を身につける
18	ボランティア実践実践	ろう学校（専攻科）の学校見学や交流を通しコミュニケーション力を身につける
19	ボランティア実践実践	障がい者施設でのボランティアに参加し地域における役割等を知る
20	ボランティア実践実践	障がい者施設でのボランティアに参加し地域における役割等を知る
21	ボランティアの振り返り	ボランティアの振り返り、まとめを行う お礼状の作成
22	ボランティアの振り返り	ボランティアの振り返り、まとめを行う お礼状の作成
23	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
24	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
25	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
26	発表向けの準備	クラスでの発表に向けて新聞作成をする
27	発表	後期のボランティアを通して学んだことをクラスで発表する
28	発表	後期のボランティアを通して学んだことをクラスで発表する
29	まとめ・振り返り	後期のボランティアのフィードバックをし1年間の総括をする
30	まとめ・振り返り	後期のボランティアのフィードバックをし2年間の総括をする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアスタディⅠA		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアスタディⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	シゴト★ジブン発見カード		出版社	一般社団法人 えひめ若年人材育成推進	

科目の基礎情報②

授業のねらい	姉妹校の職種体験、学校説明に参加し、認知特性、三者面談、個人面談等を通して進学先を選定する				
到達目標	自身や分野の特性を理解し、それぞれが納得した進路を実現することができる 興味のある分野から自分の強み、特徴を知る 文書や言葉で自分の思いを伝えることができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢA、 キャリアスタディⅢB、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、スケジュールについて確認
	自己分析	自分の特性を理解する
2	興味のある分野を見つける	興味のある分野から自分の強み、特徴を知る
		教材のカードを使用し、イラストと仕事の名前だけを見て分類する
3	興味のある分野を見つける	興味のある職業の理由を考え、ワークシートに記入する
		興味のある職業の理由を考え、ワークシートに記入する
4	分野の特徴理解	自分に当てはまることや強みや特徴を書き出す。興味のある職業からキーワードになる言葉を書き留める
		自分に当てはまることや強みや特徴を書き出す。興味のある職業からキーワードになる言葉を書き留める
5	医療系の説明会	医療事務の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
6	美容系の説明会	美容師の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
7	調理系の説明会	調理師の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
8	医療系の説明会	医療秘書の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施

9	美容系の説明会	ヘアメイクに関わる仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
10	スポーツ系の説明会	トレーナーの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
11	医療系の説明会	診療情報管理士の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
12	保育系の説明会	幼稚園の仕事について理解を深める
	体験授業	体験授業の実施
13	AI・IT系説明会	WEBデザインやITビジネスに関する仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
14	医療系の説明会	医薬品登録販売者の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
15	美容系の説明会	エステティシヤンの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアスタディⅠB		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアスタディⅠB		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	シゴト★ジブン発見カード		出版社	一般社団法人 えひめ若年人材育成推進	

科目の基礎情報②

授業のねらい	姉妹校の職種体験、学校説明に参加し、認知特性、三者面談、個人面談等を通して進学先を選定する				
到達目標	自身や分野の特性を理解し、それぞれが納得した進路を実現することができる 興味のある分野から自分の強み、特徴を知る 文書や言葉で自分の思いを伝えることができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢA、キャリアスタディⅢB、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	調理系の説明会	栄養士の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
2	スポーツ系の説明会	インストラクターの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
3	医療系の説明会	歯科助手の仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
4	美容系の説明会	ネイリストの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
5	保育系の説明会	保育士の仕事について理解を深める
	体験授業	体験授業の実施
6	医療系の説明会	介護福祉士の仕事について理解を深める
	体験授業	体験授業の実施
7	製菓系の説明会	パティシエの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
8	スポーツ系の説明会	スポーツの企画や運営に関わる仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施

9	医療系の説明会	看護師の仕事について理解を深める
	体験授業	体験授業の実施
10	ブライダル系の説明会	ウェディングプランナーの仕事について理解を深める
	体験授業	姉妹校による体験授業の実施
11	分野の特徴理解	興味のある分野について調べ学習をする
		興味のある分野について調べ学習をする
12	グループワーク	なりたい職業についてグループ内で共有する
		自分のタイプを知って思ったこと、感じたことを共有する
13	発表に向けて準備	進路先の分野について学んだことをまとめる
		進路先の分野について学んだことをまとめる
14	発表	自分が今後目指していく分野について発表する
		自分が今後目指していく分野について発表する
15	未来について	5年後・10年後をイメージし、キャリアプランを考える
	まとめ	1年間の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアスタディⅡA		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアスタディⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	シゴト★ジブン発見カード		出版社	一般社団法人 えひめ若年人材育成推進	

科目の基礎情報②

授業のねらい	姉妹校の職種体験、学校説明の参加。認知特性、三者面談、個人面談等を通して進学先を選定する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身や分野の特性を理解し、それぞれが納得した就職先を実現できる ・社会人としてのマナーを理解することができる ・文書や言葉で自分の思いを伝えることができる ・敬語などTPOに合わせた適切な言葉遣いで話すことができる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅠA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢA、キャリアスタディⅢB、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、スケジュールについて確認
	自己分析	自分の特性を理解する
2	興味のある分野を見つける	興味のある分野から自分の強み、特徴を知る
		教材のカードを使用し、イラストと仕事の名前だけを見て分類する
3	興味のある分野を見つける	興味のある職業の理由を考え、ワークシートに記入する
		興味のある職業の理由を考え、ワークシートに記入する
4	分野の特徴理解	自分に当てはまることや強みや特徴を書き出す。興味のある職業からキーワードになる言葉を書き留める
		自分に当てはまることや強みや特徴を書き出す。興味のある職業からキーワードになる言葉を書き留める
5	求人票の見方	求人票の見方、福利厚生について
		求人票の見方、福利厚生について
6	面接依頼電話	好印象を与える電話掛けを学ぶ
	メール方法	メールの方法を学ぶ
7	書類準備方法	就職試験に必要な書類準備をする
	履歴書作成	履歴書の書き方について
8	履歴書作成	履歴書の書き方について
		自己PR作成

9	履歴書作成	自己PR作成
		志望動機作成
10	履歴書作成	志望動機作成
	社会人の言葉遣い	敬語の使い方、面接時の対応方法を学ぶ
11	試験対策（面接）①	質問回答作成をする
	試験対策（面接）②	質問回答作成をする
12	試験対策（面接）③	模擬面接をする
	試験対策（面接）④	フィードバックを受け、改善点を見つける
13	試験対策（面接）⑤	模擬面接をする
	試験対策（面接）⑥	フィードバックを受け、改善点を見つける
14	試験対策（筆記）①	筆記試験対策の小テスト
	試験対策（筆記）②	筆記試験対策の小テスト
15	試験対策（筆記）③	作文の書き方を学ぶ
	試験対策（筆記）④	作文の書き方を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアスタディⅡB		
必修選択	選択必修	(学則表記)	キャリアスタディⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	シゴト★ジブン発見カード		出版社	一般社団法人 えひめ若年人材育成推進	

科目の基礎情報②

授業のねらい	認知特性、三者面談、個人面談等を通して就業先を選定し就職試験対策を行う				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身や分野の特性を理解し、それぞれが納得した就職先を実現できる ・社会人としてのマナーを理解することができる ・文書や言葉で自分の思いを伝えることができる ・敬語などTPOに合わせた適切な言葉遣いで話すことができる 				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅠA、キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅢA、キャリアスタディⅢB、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	挨拶と話し方・聞き方①	社会人に求められる態度・立ち振る舞いについて学ぶ
	挨拶と話し方・聞き方②	言葉遣いについて学ぶ
2	電話応対	電話のマナーと話し方、かけ方、受け方、取り次ぎのポイントについて
		電話のマナーと話し方、かけ方、受け方、取り次ぎのポイントについて
3	来客応対	受付、取り次ぎ、案内、席次、茶菓接待、見送りマナーのポイントについて
		受付、取り次ぎ、案内、席次、茶菓接待、見送りマナーのポイントについて
4	仕事の進め方	指示の受け方、報告、連絡、相談の仕方について
		失敗への対処と注意の受け方について
5	就職決定後	就職活動報告書の記入方法について
		お礼状の書き方を学ぶ
6	就職決定後	お礼状準備
		お礼状準備
7	分野の特徴理解	就職する分野について調べ学習をする
		就職する分野について調べ学習をする
8	分野の特徴理解	就職する分野について調べ学習をする
		就職する分野について調べ学習をする

9	グループワーク	なりたい職業についてグループ内で共有する
		なりたい職業についてグループ内で共有する
10	グループワーク	自分のタイプを知って思ったこと、感じたことを共有する
		自分のタイプを知って思ったこと、感じたことを共有する
11	発表に向けて準備	就職先の分野について学んだことをまとめる
		就職先の分野について学んだことをまとめる
12	発表	自分が今後就職する分野について発表する
		自分が今後就職する分野について発表する
13	未来について①	5年後・10年後をイメージし、キャリアプランを考える
		5年後・10年後をイメージし、キャリアプランを考える
14	未来について②	ポジティブな言葉掛けとは何か理解する
		現場で起こりうるトラブルなど事例をあげてロールプレイングする
15	まとめ	1年間の総まとめを行う
		1年間の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	好き発見講座Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアスタディⅢA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	ワークシート ハンドBOOK		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	様々な分野で活躍される方の話を聞いたり、職業体験をしながら自分の興味関心の方向性と強みを知る				
到達目標	様々な分野の業界を理解し、自分の適性を知ることで進路活動に繋げることができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅠA、キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢB、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、様々な分野の業界が理解できるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	好き発見講座の意義・目的について理解する
		ハンドブック活用方法について学び今後の学習に活かす
2	職業体験	【美容】パーソナルカラー診断 自分に似合うカラーを知り社会人として対応しい身だしなみを理解する
		【美容】メイク講座 メイクの業界の仕事をやメイク道具を知りメイクアップ方法を学ぶ
3	職業体験	【福祉美容】ハンドリフレクソロジー ハンドリフレクソロジーの目的や効果を学ぶ
		【福祉美容】ハンドリフレクソロジー ハンドリフレクソロジーの技術を身につける
4	職業体験	【看護】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り医療分野の理解する。看護職への興味関心を持つ
		【看護】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り医療分野の理解する。看護職への興味関心を持つ
5	職業体験	【リハビリ】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り人体の構造を理解する。リハビリ職への興味関心を持つ
		【リハビリ】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り人体の構造を理解する。リハビリ職への興味関心を持つ
6	職業体験	【公務員】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り役割や活躍の場を理解する
		【公務員】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り役割や活躍の場を理解する
7	職業体験	【動物】動物と触れ合う 業界の仕事内容を知り動物の生態や育て方について学ぶ
		【動物】動物と触れ合う アニマルセラピーの効果を体験する
8	職業体験	【テーマパーク】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
		【テーマパーク】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ

9	職業体験	【芸術】写真・動画編集 業界の仕事内容を知り何気ない瞬間を残すことの楽しさを学ぶ
		【芸術】写真・動画編集 業界の仕事内容を知り何気ない瞬間を残すことの楽しさを学ぶ
10	職業体験	【アロマ】アロマ作り体験 アロマの効果を知りリラックス法を学ぶ
		【アロマ】アロマ作り体験 アロマの効果を知りリラックス法を学ぶ
11	職業体験	【JR】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り役割や活躍の場を理解する
		【JR】活躍されている方の講話 業界の仕事内容を知り役割や活躍の場を理解する
12	職業体験	【農業】農業体験 業界の仕事内容を知り生産者の喜びや苦勞を知る。収穫し消費することの喜びを知る
		【農業】農業体験 業界の仕事内容を知り生産者の喜びや苦勞を知る。収穫し消費することの喜びを知る
13	まとめ・振り返り	お礼状の作成
		前期職業体験の振り返りをし興味関心があったものをリストアップする
14	まとめ・振り返り	興味関心のあった職業について調べ学習をする
		興味関心のあった職業について調べ学習をする
15	まとめ・振り返り	関心があった職業について紹介するチラシを作成する
		関心があった職業について紹介するチラシを作成する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	好き発見講座Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアスタディⅢB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	ワークシート ハンドBOOK		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	様々な分野で活躍される方の話を聞いたり、職業体験をしながら自分の興味関心の方向性と強みを知る				
到達目標	様々な分野の業界を理解し、自分の適性を知ることで進路活動に繋げることができる				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅠA、キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢA、インターンシップ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大槻 美保子	実務経験	○		
実務内容	介護福祉士として通所リハビリテーション5年、有料老人ホーム2年、特別養護老人ホーム4年勤務をした経験を基に、様々な分野の業界が理解できるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	好き発見講座の意義・目的について理解する
	オリエンテーション	ハンドブック活用方法について学び今後の学習に活かす
2	職業体験	【福祉】高齢者体験 疑似体験をし高齢者の気持ちを理解する
	職業体験	【福祉】高齢者体験 疑似体験をし高齢者の気持ちを理解する
3	職業体験	【福祉】介護ロボット・ICT 介護業界で活躍するロボットや用具に触れ最新の福祉を知る
	職業体験	【福祉】介護ロボット・ICT 介護業界で活躍するロボットや用具に触れ最新の福祉を知る
4	職業体験	【自動車】自動車整備 業界の仕事内容を知り国内における自動車生産の重要性を知る
	職業体験	【自動車】自動車整備 業界の仕事内容を知り国内における自動車生産の重要性を知る
5	職業体験	【言語】外国語の理解 外国語を学び言語理解の楽しさを知る
	職業体験	【言語】外国語の理解 外国語を学び言語理解の楽しさを知る
6	職業体験	【言語】外国語の理解 外国語を学び言語理解の楽しさを知る
	職業体験	【言語】外国語の理解 外国語を学び言語理解の楽しさを知る
7	職業体験	【言語】点字の理解 視覚障害のある方とのコミュニケーションツールを学ぶ
	職業体験	【言語】点字の理解 視覚障害のある方とのコミュニケーションツールを学ぶ
8	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 携帯会社業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 携帯会社業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ

9	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 アパレル業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 アパレル業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
10	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 スーパー業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
	職業体験	【販売】活躍されている方の講話 スーパー業界の仕事内容を知りマナーや接客について学ぶ
11	職業体験	【接客】飲食店での接客 業界の仕事内容を知り接客のポイントについて学び社会性を身につける
	職業体験	【接客】飲食店での接客 業界の仕事内容を知り接客のポイントについて学び社会性を身につける
12	職業体験	【接客】飲食店での接客 業界の仕事内容を知り接客のポイントについて学び社会性を身につける
	職業体験	【接客】飲食店での接客 業界の仕事内容を知り接客のポイントについて学び社会性を身につける
13	まとめ・振り返り	お礼状の作成
	まとめ・振り返り	後期職業体験の振り返りをし興味関心があったものをリストアップする
14	まとめ・振り返り	興味関心のあった職業について調べ学習をする
	まとめ・振り返り	興味関心のあった職業について調べ学習をする
15	まとめ・振り返り	関心があった職業について紹介するチラシを作成する
	まとめ・振り返り	関心があった職業について紹介するチラシを作成する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	希望する業界や就職先の就労体験を通して、将来像を明確にし就職後に生きる実践力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 希望する就職分野の就労体験を通じて将来像を明確にし、就職に繋げることができる 認知特性、三者面談、個人面談を通じて就職分野を決め、現場実習を通じて働く体験を行う インターンシップを通じて自身の課題を発見し、卒業までの計画を立てる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総授業時間の3分の2以上である者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	キャリアスタディⅠA、キャリアスタディⅡA、キャリアスタディⅠB、キャリアスタディⅡB、キャリアスタディⅢA、キャリアスタディⅢB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	インターンシップ	基本は内定先でインターンシップの実施 内定していない場合は、内定先でなくても実施可能
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23	インターンシップ	基本は内定先でインターンシップの実施 内定していない場合は、内定先でなくても実施可能
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	人間学		
必修選択	選択	(学則表記)	人間学		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	特になし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	読書習慣を身につけつつ、偉人(伝記)から人生をよりよく生きるためのヒントを得る				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の良さを理解できている ・偉人(伝記)から人生をよりよく生きるためのヒントを得る 				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	徳永 恵	実務経験	○		
実務内容	私立幼稚園で幼稚園教諭として9年勤務をした経験を基に、読書の良さを知り、読書習慣を身につけるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	読書体験を振り返る	自分の読書体験について振り返る
3	様々な本について学ぶ①	乳児期、幼児期、児童期、青年期など様々な本について理解や興味を深める
4	様々な本について学ぶ②	
5	様々な本について学ぶ③	
6	様々な本について学ぶ④	
7	読書習慣について学ぶ	読書の大切さについて理解を深める
8	小テスト①	これまでの授業内容を基にテストを実施する
9	偉人(伝記)について①	偉人(伝記)を読み、人生をよりよく生きるための得たヒントを得る
10	偉人(伝記)について②	偉人(伝記)を読み、人生をよりよく生きるための得たヒントを得る
11	偉人(伝記)について③	偉人(伝記)を読み、人生をよりよく生きるための得たヒントを得る
12	偉人(伝記)について④	偉人(伝記)から人生をよりよく生きるための得たヒントについて文書を作成する
13	偉人(伝記)について⑤	偉人(伝記)から人生をよりよく生きるための得たヒントについて文書を作成する
14	偉人(伝記)について⑤	偉人(伝記)から人生をよりよく生きるための得たヒントについて作成した文書を発表する
15	小テスト②・授業のまとめ	これまでの授業内容を基にテストを実施し、授業の総まとめをする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	情報利活用 基本演習 Office2019対応		出版社	日経BP社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ワード、エクセル、パワーポイントの基礎を学び実践力を身につける				
到達目標	新規からデザイン性のある文書を作成できる				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	パソコン技能検定準1～3級				
関連科目	プログラミング、SNSリテラシー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤瑞希	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 情報利活用 コンピュータの基本操作	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れ、到達目標を説明 ・ウィンドウの操作 ・タイピング練習(自己紹介作成) ・新規文書の作成から保存、印刷まで
2	Lesson1 文書の作成と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P21～34 ・問題1-1から問題1-3
3	Lesson2 一般的なビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P35～P47 ・問題2-1から問題2-2
4	Lesson2 一般的なビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P35～P47 ・問題2-1から問題2-2
	Lesson3 シンプルなレポートや報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P48～P63 ・問題3-1から問題3-3
5	Lesson3 シンプルなレポートや報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P48～P63 ・問題3-1から問題3-3
6	Lesson4 表、画像、図形を使った文書の作成 ワードを使用しテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P56～P78 ・問題4-1から問題4-3
7	Lesson4 表、画像、図形を使った文書の作成 ワードを使用しテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P56～P78 ・問題4-1から問題4-3
	Lesson5 プレゼンテーションの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P81～P96 ・問題5-1から問題5-4
8	Lesson5 プレゼンテーションの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P81～P96 ・問題5-1から問題5-4
	Lesson6 わかりやすいストーリー構成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・P97～P106 ・問題6-1から問題6-5

9	Lesson6 わかりやすいストーリー構成	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 97～P 106 ・ 問題6-1から問題6-5
	Lesson7 センスアップするレイアウトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 107～P 121 ・ 問題7-1から問題7-4
19	Lesson7 センスアップするレイアウトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 107～P 121 ・ 問題7-1から問題7-4
11	Lesson8 イメージを伝えるイラスト・写真活用 パワーポイントを利用しテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 122～P 140 ・ 問題8-1から問題8-2
12	Lesson9 表作成の基本操作	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 141～P 155 ・ 問題9-1から問題9-2
	Lesson10 見やすく使いやすい表にする編集操作	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 156～P 169 ・ 問題10-1～問題10-3
13	Lesson11 数式・関数を利用した集計表の作成 エクセルを利用しテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 170～P 186 ・ 問題11-1から問題11-2
14	Lesson11 数式・関数を利用した集計表の作成 エクセルを利用しテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 170～P 186 ・ 問題11-1から問題11-2
	Lesson12 グラフの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 187～P 201 ・ 問題12-1から問題12-2
15	Lesson12 グラフの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習 ・ P 187～P 201 ・ 問題12-1から問題12-2
	総合問題もしくはテスト	P 202～P 212

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プログラミング		
必修選択	選択	(学則表記)	プログラミング		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	『Scratch 3.0で楽しむ レッツ! プログラミング ジュニア・プログラミング検定 公式テキスト』		出版社	FOM出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	プログラミングの基本的スキルを学ぶと共に、問題解決能力・創造性・デジタルリテラシーを学ぶ				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動くプログラムを作り上げる達成感を感じるとともに、動かない理由と対策を考えることができる ・インターネットを利用する際のリテラシーを身につける 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	日商プログラミング検定(ENTRY)				
関連科目	パソコン				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河崎 佳子	実務経験	○		
実務内容	システム会社でエンジニアとして大規模システムの設計・開発を経て営業・新規ビジネス企画を担当した実務経験を基にワード、Excel、パワーポイントの基礎を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	アイズブレイク、PCの起動方法、キーボード・マウスの操作等の確認、Googleドライブへのログイン インターネットリテラシー・プログラミングの考え方について理解する
	基本操作の習得	Scratchの始め方を学習する。ゲームの作り方の基本について説明をし、実際に小作品を作成する。(p.16-35) 背景を変える。ねこを動かす。ブロックの複製・削除・アニメーションをつける・ねこを自動的に動かす・ねこがサボテンに当たったら引き返す(分岐)、サボテンに当たった回数をカウント(変数)、BGMをつける
2	エントリー級①	「おいかっこゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定エントリー級該当課題 ゲーム概要説明、ねこの動作をつくる、(表示編集・条件分岐)、動作チェック
	エントリー級②	「おいかっこゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定エントリー級該当課題 メッセージを送る、アニメーションをつくる、動作チェック
3	エントリー級③	「おいかっこゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定エントリー級該当課題 条件達成時の表示作成
	エントリー級④	「おいかっこゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定エントリー級該当課題 ねこのプログラムを手直しして馬のプログラムを作成する(アレンジ可能)
4	エントリー級・作品共有	できあがった作品・工夫した点や難しかったところなどを共有し、動作を確認する中で、お互いの作品の良さを感じたり、次のプログラムへのアイデアを得たりする。
	エントリー級・練習問題を解く(小テスト①)	テキスト p.74-77の問題を解く
5	ブロンズ級①	「犬のマラソンゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定ブロンズ級 該当課題 概要説明、条件分岐、スプライトの表示・操作
	ブロンズ級②	「犬のマラソンゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定ブロンズ級 該当課題 変数の使用(動きのスピードを変える、周のカウント)1/2
6	ブロンズ級③	「犬のマラソンゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定ブロンズ級 該当課題 変数の使用(動きのスピードを変える、周のカウント)1/1
	ブロンズ級④	「犬のマラソンゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定ブロンズ級 該当課題 動作確認・アレンジ
7	ブロンズ級・作品共有	できあがった作品・工夫した点や難しかったところなどを共有し、動作を確認する中で、お互いの作品の良さを感じたり、次のプログラムへのアイデアを得たりする。
	ブロンズ級・練習問題を解く(小テスト②)	テキスト p.114-117の問題を解く
8	シルバー級①	「ロケットの足し算クイズをつくる」 ジュニア・プログラミング検定シルバー級 該当課題 ルール説明、初期設定、制限時間(カウントダウン)、終了判定
	シルバー級②	「ロケットの足し算クイズをつくる」 ジュニア・プログラミング検定シルバー級 該当課題 足し算の問題作成(変数と乱数の組み合わせ)、終了判定、答えが入力された時の動作

9	シルバー級③	「ロケットの足し算クイズをつくる」 ジュニア・プログラミング検定シルバー級 該当課題 背景の動き（雲、鳥）をつくる
	シルバー級④	「ロケットの足し算クイズをつくる」 ジュニア・プログラミング検定シルバー級 該当課題 動作確認・アレンジ
10	シルバー級・作品共有	できあがった作品・工夫した点や難しかったところなどを共有し、動作を確認する中で、お互いの作品の良さを感じたり、次のプログラムへのアイデアを得たりする。
	シルバー級・練習問題を解く (小テスト③)	テキスト p.156-160の問題を解く
11	ゴールド級①	「シューティングゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定 ゴールド級該当課題 ルール説明、初期設定（画面・タイトルコード）、ロケットの動作を作る
	ゴールド級②	「シューティングゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定 ゴールド級該当課題 ゲーム部分作成（条件分岐、ゲームオーバーの処理、ロケット弾の発射動作）
12	ゴールド級③	「シューティングゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定 ゴールド級該当課題 ゲーム部分作成（ロケット弾の発射動作、敵の動作、敵の動作の条件分岐）
	ゴールド級④	「シューティングゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定 ゴールド級該当課題 ゲーム部分作成（ロケット弾の発射動作、敵の動作、敵の動作の条件分岐、敵の弾の動作作成）
13	ゴールド級⑤	「シューティングゲームをつくる」 ジュニア・プログラミング検定 ゴールド級該当課題 ゲーム部分作成・動作確認
	ゴールド級・作品共有	できあがった作品・工夫した点や難しかったところなどを共有し、動作を確認する中で、お互いの作品の良さを感じたり、次のプログラムへのアイデアを得たりする。
14	ゴールド級・練習問題を解く (小テスト④)	テキスト p.218-223の問題を解いてみる
	オリジナルのプログラムを作ってみよう ①	此処まで学んだことを通して、オリジナルのプログラムを作ってみる①
15	オリジナルのプログラムを作ってみよう ②	此処まで学んだことを通して、オリジナルのプログラムを作ってみる②
	オリジナルのプログラムを作ってみよう ③・作品共有	できあがった作品・工夫した点や難しかったところなどを共有し、動作を確認する中で、お互いの作品の良さを感じたり、次のプログラムへのアイデアを得たりする。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ペン字Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	あなたも書き文字美人に きれいな文字の書きかた		出版社	二玄社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会におけるペン習字の必要性を知り、美しい文字を書くための基本的な知識と技術を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書に誤字脱字なく、読みやすい字を書くことができる ・基本的なビジネス文書（メモなど）を読みやすく書くことができる ・正しく書くための、知識を説明できる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	硬筆書写技能検定				
関連科目	ペン字Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	金子希奈	実務経験	○		
実務内容	幼稚園で幼稚園教諭として4年間、保育所で保育士として2年間勤務した実務経験を元に、社会人として適切・丁寧な文字を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、評価、用具の説明
2	ひらがなの基本①	ひらがなの書き方①
3	ひらがなの基本②	ひらがなの書き方②
4	ひらがなの基本③	ひらがなの書き方③
5	カタカナ、アルファベット、数字	カタカナ、数字、アルファベットの書き方
6	漢字の筆順	正しい筆順で文字を書き、字形を整える
7	漢字（部首）	部首の形、意味を知り、漢字の成り立ちの理解を深める
8	漢字①	基本点画
9	漢字②	字形の整え方
10	漢字③	
11	都道府県名	都道府県、県庁所在地名
12	日常書式①	名前の書き方
13	日常書式②	あて名書き
14	日常書式③	はがきの通信文、手紙
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ペン字Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネス実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方		出版社	二玄社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	文字の書き方を基本から学び、文字を書くことを通して、社会人として相応しい書写力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書に誤字脱字なく、読みやすい字を書くことができる ・基本的なビジネス文書（メモなど）を読みやすく書くことができる ・正しく書くための、知識を説明できるようになる 				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ペン字Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	金子希奈	実務経験	○		
実務内容	幼稚園で幼稚園教諭として4年間、保育所で保育士として2年間勤務した実務経験を元に、社会人として適切・丁寧な文字を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	掲示文①	マジックペンの使い方。手書きの案内文の書き方を練習する
2	掲示文②	
3	掲示文③	①②で確認した内容の振り返り実践
4	履歴書の練習①	正しい文字と文書体裁の整え方①
5	履歴書の練習②	正しい文字と文書体裁の整え方②
6	履歴書の練習③	履歴書の基本情報部分を中心に書き方実践を行う。
7	履歴書の練習④	正しい文字と言葉使いの練習、書面体裁の整え方①
8	履歴書の練習⑤	正しい文字と言葉使いの練習、書面体裁の整え方②
9	封筒の宛名書き	サイズ違い、縦、横書きの書き方練習
10	一筆箋の書き方	手書きによる一筆箋の効果を考えて、様々な場面を想定して書いてみる
11	伝言メモの書き方	手書きでの社内メモの書き方
12	書き始め	新年度どんな1年にしたいかを考え、決意を漢字1文字に表し発表する
13	慶弔関連	のし袋、芳名帳の書き方の説明をする 実際の場面（結婚式受付等）を想定して書く
14	総合テスト	後期のまとめテストを実施する 自分の書く字がどのように変わったか自分自身で確認する
15	まとめ	授業の振り返りをする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スポーツレクリエーション		
必修選択	選択	(学則表記)	健康づくり実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	1	15
使用教材	なし(適時、資料を配布)		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸フェスティバルの参加、ダンス等、身体を動かすことを通して健全な心身をつくる				
到達目標	自らの健康の保持・増進ができるようになる				
評価基準	テスト(小テスト含む)50%・提出物30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	健康管理能力Ⅰ、健康管理能力Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大木 寛人	実務経験	○		
実務内容	高校保健体育教員、保育園での運動指導、水泳指導、子ども運動指導者検定の講師として勤務した実務経験を基に、身体を動かすことを通して健全な心身をつくることを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ガイダンス(座学)	授業内容の理解、体を動かすことの大切さの理解
2	体力テスト	自分の現状の体力の理解
3	メニュー作り	体力テストの結果を元に、体力作りのメニューを考える
4	姿勢と歩き方(座学)	正しい姿勢と歩き方の理解と実践
5	歩行	学習した姿勢で歩行の実践をする
6	レクリエーション	「走る・歩く」の動作がある遊びの実践
7	リズムに乗る(座学)	リズムカルに動くときの変化
8	リズム体操	リズム体操の実践
9	縄跳び	様々な跳び方に挑戦する
10	筋力トレーニング(座学)	筋力トレーニングの効果について理解する
11	トレーニング①	ボールを使ってトレーニングの実践
12	トレーニング②	脈拍を上げるトレーニングの実践
13	生活習慣について(座学)	メタボリックドミノの理解
14	体力テスト	自分の現状の体力の理解
15	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	栄養と食育Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	健康づくり実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	新 栄養の教科書		出版社	新星出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・衛生の基本的知識を修得し、調理実習を通して実践的なスキルとして身につける。				
到達目標	基本的な栄養の知識を身に付ける。調理をする際の手洗いや食材の取り扱いなど、衛生面の知識を身に付ける。				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	栄養と食育Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	金子香苗	実務経験	○		
実務内容	管理栄養士養成課程で管理栄養士として6年、国立健康栄養研究所に管理栄養士として3年勤務した実務経験を基に、栄養・衛生の基本的知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション/調理実習	授業の流れ/米を使った調理
2	栄養と体/調理実習	食べ物と体の関係/だしを使った調理
3	栄養素と食品群①/調理実習	五大栄養素とは/卵を使った調理
4	栄養素と食品群②/調理実習	6つの基礎食品/野菜を使った調理
5	調理をする際のポイント①/調理実習	手洗い/肉を使った調理
6	調理をする際のポイント②/調理実習	身支度/魚を使った調理
7	調理をする際のポイント③/調理実習	配膳/麺を使った調理
8	食事マナー①/調理実習	食事に気をつけてほしいこと/行事を意識した調理
9	食事マナー②/調理実習	食事のあいさつ/旬の食材を使った調理
10	食事マナー③/調理実習	食器の並べ方/イベント向けの調理
11	食事マナー④/調理実習	お箸の持ち方/ホットプレートを使った調理
12	こ食と共食①/調理実習	7つのこ食/一汁三菜の調理①
13	こ食と共食②/調理実習	共食について/一汁三菜の調理②
14	前期テスト	前期テスト
15	まとめ	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	栄養と食育Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	健康づくり実践Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	キャリアデザイン総合科	2	30
使用教材	新 栄養の教科書		出版社	新星出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	調理実習を通して楽しみながら栄養と食事の大切さを学び、調理の基本スキルを身につける。				
到達目標	包丁の取り扱い、野菜の切り方、煮る、焼く、炒めるなど、基本的な、調理技術を身に付ける。				
評価基準	テスト（小テスト含む）50％・提出物30％・授業態度20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総授業時間の3分の2以上である者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	栄養と食育Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	金子香苗	実務経験	○		
実務内容	管理栄養士養成課程で管理栄養士として6年、国立健康栄養研究所に管理栄養士として3年勤務した実務経験を基に、栄養・衛生の基本的知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	運動、食事、睡眠の関係/調理実習	運動、食事、睡眠のバランス/旬の食材を使った調理
2	体のしくみ①/調理実習	消化器系のはたらき/パンを使った調理
3	体のしくみ②/調理実習	骨とカルシウム/麺を使った調理
4	体のしくみ③/調理実習	水と体液/卵を使った調理
5	体のしくみ④/調理実習	エネルギー必要量/肉を使った調理
6	食事の組み立て①/調理実習	ごはん、おかず、汁物の組み合わせ/魚を使った調理
7	食事の組み立て②/調理実習	主食、主菜、副菜/旬の食材を使った調理
8	食品と医薬品の相互作用/調理実習	気をつけたほうがよい食品と医薬品の組み合わせ/行事を意識した調理
9	食物アレルギー①/調理実習	食物アレルギーのメカニズム/イベント向けの調理
10	食物アレルギー②/調理実習	気をつけたほうがよい食品/ホットプレートを使った調理
11	食事の悩み①/調理実習	野菜、足りていますか？/朝食向けの調理
12	食事の悩み②/調理実習	米、食べていますか？/昼食向けの調理
13	食事の悩み③/調理実習	夕食の時間は、何時頃？/夕食向けの調理
14	後期テスト/まとめ	後期テスト/振り返り
15	調理実習	リクエスト調理